持続可能な社会・地球を目指して

→ E_01・02 関連記事

**ジェイテクトグループは、環境を経営の重要な課題の1つとして位置づけています。
2011年3月には「環境理念」「環境方針」からなる「ジェイテクトグループ環境ビジョン」を策定し、
全社・グループ一丸となった推進体制のもと、社会・地球の持続可能な発展に貢献する取り組みを進めています。**

環境ビジョン

環境方針の改定

ジェイテクトは、2017年1月に環境方針を改定しました。工場への再生可能エネルギーの導入や水を含めた資源の再利用などに加え、環境配慮型製品のトップランナーとして、事業を通じたCO_2の削減に貢献しています。
今後は、ジェイテクトの事業目的・経営戦略との連動性をより高めた環境マネジメントシステムの構築に努めます。

ジェイテクトグループ環境ビジョン

環境理念

ジェイテクトグループは、地球環境が将来にわたり、健全に保全され、持続可能な社会の実現と共生のために、自らの事業活動および製品のライフサイクルを通しての環境負荷をゼロにすることを目指します。

環境方針

（制定年月日：2017年1月1日）

ジェイテクトの全従業員は、企業理念のもと「JTEKT GROUP VISION」、「JTEKT WAY」を共有し、内部及び外部の課題を含む経営戦略に応じて、自主的かつ積極的に地球環境保全活動を推進する。

1. 環境パフォーマンス向上のため、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
2. 事業活動にかかわる環境法令・条例・協定及びその他の要求事項を順守する。地域環境との融和を図り環境保全の維持・改善を行うとともに、環境汚染の予防に努める。
3. 製品のライフサイクルを軸とした環境管理活動を行い、次の項目に取り組む。
   （1）環境配慮型製品の開発及び設計
   （2）環境負荷の少ない原材料の調達、及び製造段階でのCO_2、廃棄物、化学物質等の管理・削減
4. 各事業所の立地条件を考慮した、生物多様性の保全、及び生態系の保護による自然との共生社会の確立。

推進体制

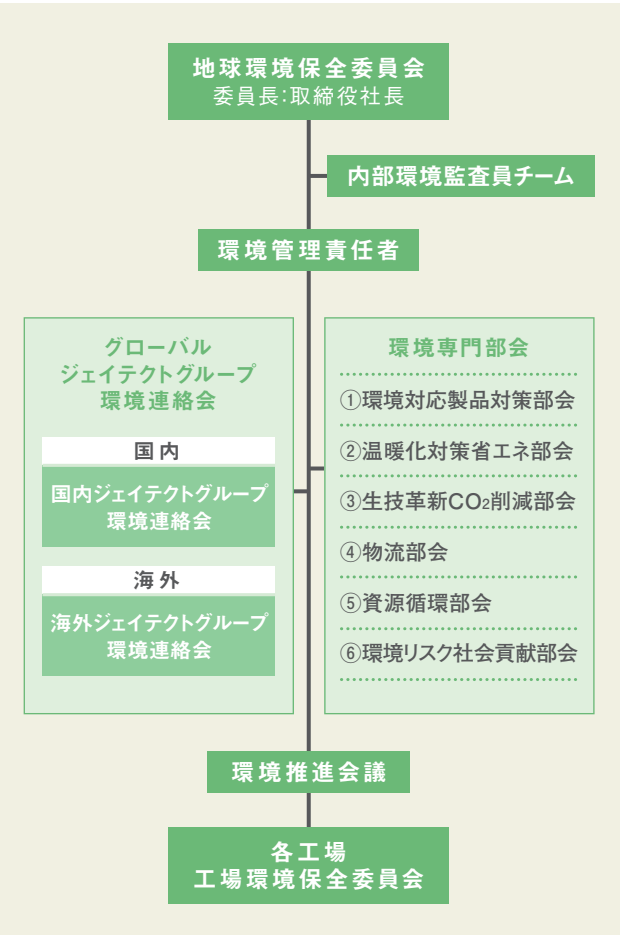
地球環境保全委員会

ジェイテクトでは社長を委員長とする「地球環境保全委員会」を設置し、環境マネジメントを推進しています。委員会のもと、各環境専門部会が高い目標を掲げて活動を展開しています。

グローバル環境マネジメント

ジェイテクトだけでなく、国内グループ19社・海外グループ38社（2017年3月31日現在）を対象に、環境マネジメントの一層の強化に取り組んでいます。

組織図



2020年度環境行動計画

E_03・E_12 関連記事

**ジェイテクトは、2050年の環境負荷極小化を目指す「環境チャレンジ2050」の実現に向け、
取り組み方針および具体的な目標を定めた「2020年度環境行動計画」を策定しました。
目標の達成に向けて、ジェイテクトグループ一丸となって取り組み、2016年度は目標の一部を前倒しで達成できました。**

2020年度環境行動計画目標、2016年度の活動実績

区分	実施	項目	基準年	2020年度目標	2016年度実績
製品・技術	グローバル	製品によるCO_2削減貢献量(*)	—	800千t	726千t
低炭素社会の構築	ジェイテクト単独	CO_2排出量	2020年度原単位目標×生産量		—
		CO_2原単位	2008年度	15%減	8.3%減
		物流CO_2原単位	2012年度	8%減	4.4%減
	グローバル	CO_2原単位	2012年度	10%減	8.3%減
循環型社会の構築	ジェイテクト単独	廃棄物原単位	2008年度	18%減	14.8%減
		梱包資材原単位	2012年度	8%減	4.9%減
		水使用量原単位	2012年度	8%減	18.7%減
	グローバル	廃棄物原単位	2012年度	8%減	1.3%減
		水使用量原単位	2012年度	8%減	49.1%減

＊全体のCO_2排出量と同等以上のCO_2を製品による削減で貢献　（抜粋）

詳細公開 「2020年度環境行動計画」については、ジェイテクトウェブサイトでも紹介しています。
http://www.jtekt.co.jp/news/160531.html

取り組み

再生可能エネルギーの導入

2016年、JSAI（インド）では太陽光発電システムにより220kWの電力を導入し、これまでの導入量は270kWとなりました。2017年は170kWを導入予定で、全電力使用量の10%程度を賄う見込みです。ジェイテクト単独では、これまでに685kWの再生可能エネルギーを導入し、500kW以上という導入目標を達成しています。国内外グループ会社を合わせたジェイテクトグループ全体では、2016年度までに1,168kWの再生可能エネルギーを導入。2016年度は1,271MWhを発電し、CO_2排出量を470t削減しました。今後も「環境チャレンジ2050」が目指すCO_2排出量の極小化に向け、環境負荷の少ない再生可能エネルギーの導入に、積極的に取り組んでいきます。

太陽光発電（JSAI:インド）

生産技術革新の取り組み

ジェイテクトでは2020年度CO_2削減目標の達成に向け、生産技術革新による生産性の向上とCO_2排出量削減に取り組んでいます。2016年度は、①生産工程・設備台数を少なくする、②設備のコンパクト化、③高効率な機器・負荷変動に追従する設備の導入、④エネルギーロスの低減とエネルギー再利用の4点を目標に、技術開発を進めました。